

第6章 総括

以上、西地・東地遺跡における発掘および整理調査を通じて、遺跡の評価および課題について、ごく簡単に言及しておく。

当遺跡は、縄文時代早期前半以降、繰り返しヒトが活動した、安定した集落のあった場所といえる。調査で面的に確認できたのが、縄文時代後期初頭を中心とした時期である。5棟の竪穴建物跡と貯蔵穴などの大型土坑群とのセット関係は、当時の縄文時代景観を語る好資料といえる。見つかった5棟の竪穴建物跡は同時期に形成されたわけではなく、時期差が認められる。一時期の建物の棟数は1・2棟程度と少なかったものと思われる。

これら後期初頭の遺構群は、III層上面より上で形成されていた。遺構がどの面から形成されているかの検討をせずに調査を行う場合、この層は、恐らく、単に包含層として掘り下げられてしまうのではないかと思われる。縄文時代研究においては、地山に近いレベルで竪穴建物跡の検出が多い中期に比べて、後期以降になると建物跡の調査事例が少なくなる。のことから、これまで縄文文化の停滞のようなことが言われてきている。報告者は、包含層と言われている層には遺構も包含しているという立場から、調査の際に注意が必要であると述べてきた（川添2011）。これは縄文時代後期以降の自然環境、あるいは集落におけるヒトの活動様相によって生じる遺跡形成過程に起因するものである。この遺跡形成過程は、発掘調査時に検討することが最も重要ではあるが、遺物から検討する際に有効なものに、遺物出土傾向図がある。図156・157に各遺物の種類別に提示しておいた。10mグッドのマス目ごとに、点数（最上段）、総重量（中段）内に記載）、総重量/点

数値（最下段）を記した。1資料に対して重量が大きいと、埋納など遺物の保存状態は良好であることを示し、逆に1資料に対して重量が小さい場合は、二次的あるいは後世による作用を受けたものと考えられるのである。

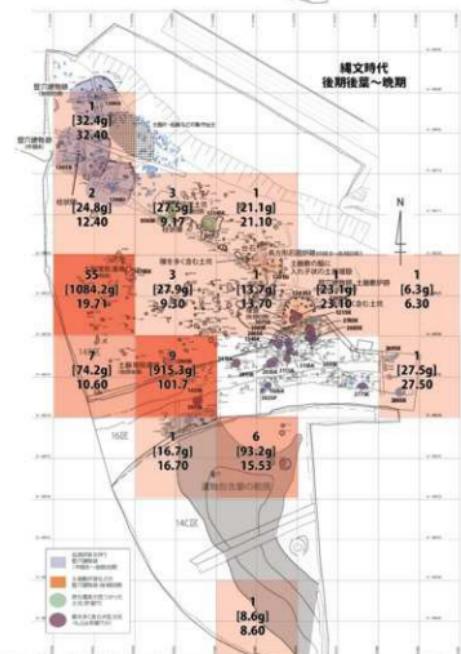
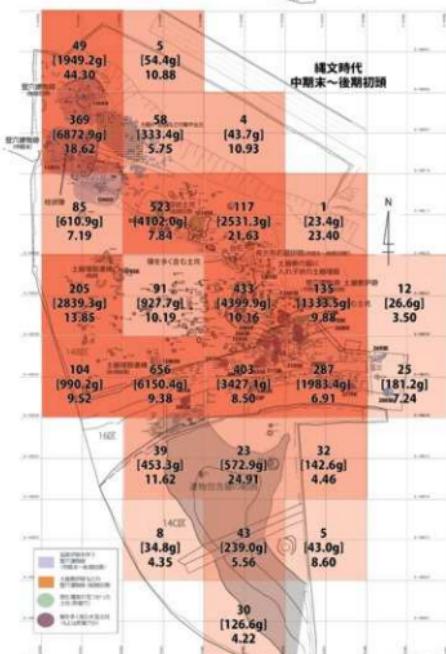
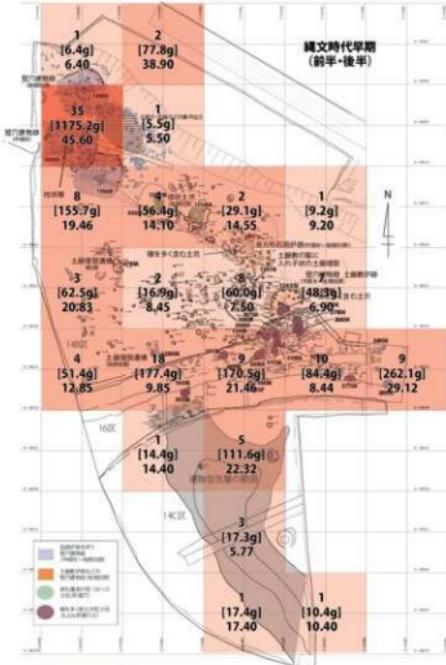
特に、今回の調査では以下のことが注目される。

1. 土器・石器石材において当時の特色を表出しながらも、信州地域との関係性が色濃く窺えられるものがあること。縄文土器では下伊那地域との関係で結節縄文のある土器の存在であり、中信との関係では黒曜石の大量流入などが挙げられる。特に、黒曜石石核1167は、愛知県下で出土した黒曜石塊の中でも、最大級のものといえる。

2. 石器組成としては、磨石敲石類、および石皿台石類の点数が卓越して多い反面、石錘類の出土が希少であること。磨石敲石類・石皿台石類は硬果類など植物質食糧の加工に傾斜した作業が想定される。縄文時代後期初頭に当地で行われた生業活動を考える上で、重要な視点となる。

3. 貯蔵穴の中から多量の土器・石器が出土すること。貯蔵穴は堅果類など植物質食糧の保存を目的として形成される遺構である。その中に多量の遺物が存在するのは、当時の何かのイベント（あるいはサイクル）で、行われた意図的な行為であった可能性が考えられる。この現象の社会的意味については、今後の課題である。

4. そもそも後期初頭を中心とする集落跡が見つかること自体、少なく貴重であること。今回の設楽地域での調査によって、これまで空白地域であった考古学的情報が、一気に充実するようになることが見込まれる。今後も、活用に根ざした調査成果の整理・公開が行われることになろう。



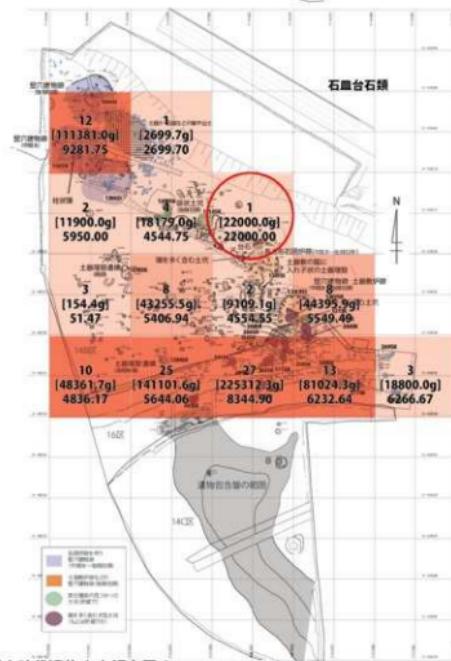
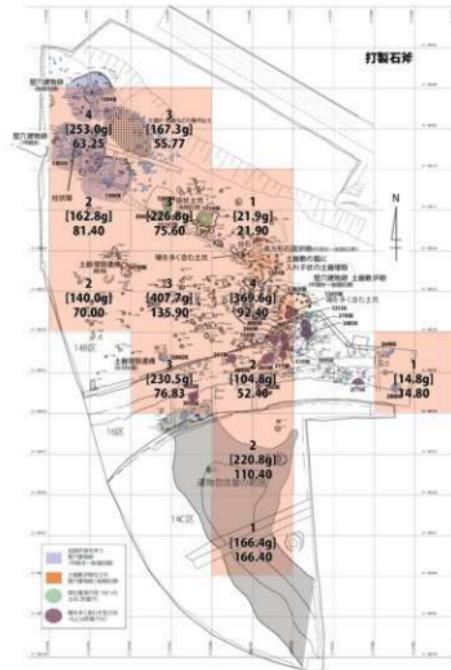
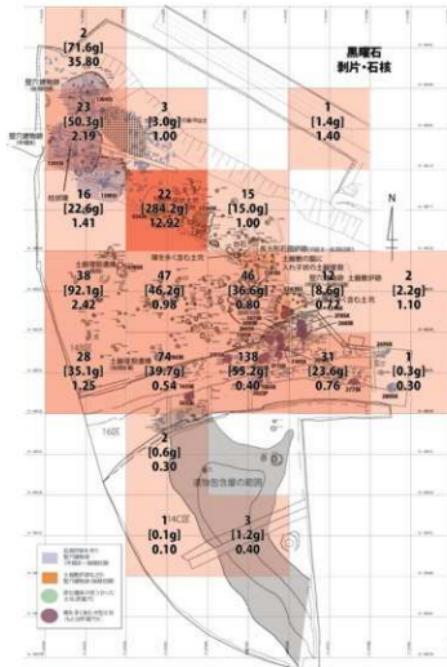


図 157

西地・東地遺跡 純文時代遺物出土傾向図 2

参考文献

- 石井由紀子 2008「中津式・福田K II式土器」『総覧 縄文土器』634～641頁 株式会社 アム・プロモーション
- 石井 寛 1992「称名寺式土器の分類と変遷」『調査研究集録』9. 横浜市ふるとさと歴史財団
- 石井 寛 2015「稲ヶ原遺跡出土土器が提議する諸問題」『横浜市歴史博物館紀要』19 1～36頁 横浜市歴史博物館
- 小栗鉄次郎 1932「愛知県史蹟名勝天然紀念物調査報告 10」愛知県
- 長田友也 2011『水汲遺跡 第2・3・5・6次調査』豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第49集
- 川添和暁 2011『先史社会考古学—骨角器・石器と遺跡形成からみた縄文時代晩期一』六一書房
- 川添和暁 2016「縄文時代後晩期における剥片石器石材について—尾張・三河地域の剥片・石核類から—」『研究紀要』17. 11～30頁 愛知県埋蔵文化財センター
- 北村和宏・木川正夫 2007『設楽ダム関連遺跡総合事前調査 詳細遺跡分布調査報告書』愛知県教育委員会
- 紅村 弘・増子康眞・山口 克・和田英雄 1979『東海先史文化の初段階（資料編II）』名古屋
- 紅村 弘・増子康眞・山口 克 1981『東海先史文化の初段階（本文編）補足改訂版』名古屋
- 小濱 学編 1997『新徳寺遺跡』三重県埋蔵文化財調査報告 123-3 三重県埋蔵文化財センター
- 佐藤寛介 2004『倉敷市中津貝塚出土の縄文土器』『研究紀要』23・24 1～30頁 岡山県立博物館
- 鈴木富美夫・岡田松三郎ほか 1968『北設楽郡史 原始一中世』北設楽郡史編集委員会
- 田嶋正憲 2010「岡山県における戦前戦後標識遺跡採集縄文土器の研究（1）—中津貝塚出土の中津式土器—」『岡山市埋蔵文化財センター研究紀要』2. 1～18頁
- 千葉 豊編 2010『西日本の縄文土器 後期』真陽社
- 永井邦仁・川添和暁 2018「大名倉遺跡の研究」『研究紀要』19. 9～30頁 愛知県埋蔵文化財センター
- 早野浩二編 2003『権現山遺跡』愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 110
- 堀木真美子 2016「設楽地域の石材（1）」『新設楽発見伝』2 15頁 平成27年度設楽ダム関連発掘調査成果報告会配布資料 愛知県埋蔵文化調査センター
- 横浜市歴史博物館 2016『称名寺貝塚と称名寺式土器』企画展「称名寺貝塚」関連シンポジウム
- 増子康眞 2018「東海西部縄文中期土器型式」『縄文時代』29 111～131頁 縄文時代文化研究会
- 山下勝年編 1983『林ノ峰貝塚I』南知多町文化財調査報告書 5 南知多町教育委員会



遺跡遠景（南より）



調査前状況（南より）



調査区全景（西より）



14B 区 上段 調査区西壁 土層断面

写真図版 2





左：14B 区 1306SI（東より）
右：同石囲炉跡（東より）



左：14B 区 1201SI（西より）
右：同炉内埋納土器（東より）



左：14B 区 1263SI（南より）
右上：同炉跡 1273SL 検出状況
(北より)
右下：1273SL 土層断面（南より）

写真図版 4



14B 区 1254SK - 1265SK 確検出（南より）



14B 区 1223SK 遺物出土状況（北より）



14B 区 1209SX 完掘（西より）



16 区 277SK 遺物出土状況 2（南より）



16 区 165SK 完掘および 303SK 検出（南東より）



16 区 303SK 土層断面（北東より）



16 区 303SK 底面遺物出土状況（北東より）



16 区 303SK 完掘（北東より）



写真図版 6



16区 266SK 遺物出土状況（西より）



16区 310SK 検出状況（南西より）



16区 繩文時代後期土坑群発掘状況（北より）



16区 繩文時代遺構全景（東より）



16 区 T3 西壁土層断面（東より）



14C 区 003SK 耳飾り [943]
出土状況（東より）

14C 区 全景（上が北）

写真図版 8



14B 区 古代以降 調査区全体（上が北）



14B 区 古代以降 調査区全体（北東より）



14B 区 0115SL 検出状況（南西より）



14B 区 0337SK
出土遺物 (2025)



14B 区 0141SK
出土遺物 (2012)



14B 区 0196SK (東より)



14B 区 0339SK (南東より)



14B 区 0184SK (南より)



14B 区 0109SK (東より)



14B 区 0117SK (南より)



16 区 103SK 検出状況（北西より）



16 区 166SK 遺物出土状況（南東より）

写真図版 10



14B区 0341SZ (東より)



14B区 0343SZ (南より)



14B区 0342SZ (東より)



14B区 0341SZ・0342SZ・0343SZ・0344SK (東より)



14A区 0001SZ・0002SZ (南より)



14A区 西側全景 (東より)



41

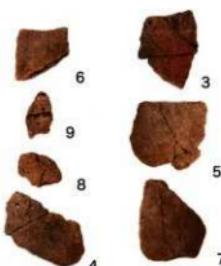


43



45

14B区 1201SI



14B 区 1304SI



10 表

10 裏

11

34



12

13

14B 区 1305SI



39

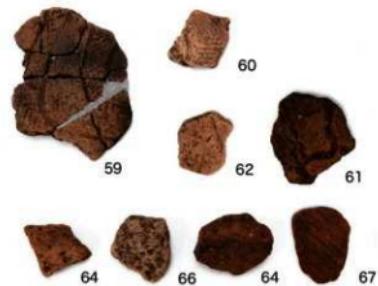


39 底面

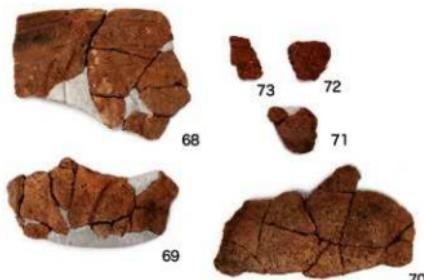
40

14B 区 1201SI

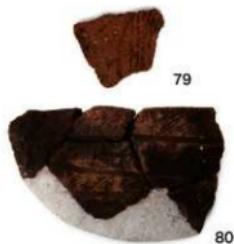
写真図版 12



14B 区 1246SK



14B 区 1273SL



14B 区 1261SK



14B 区 0036SK



131



136



135



139

14B 区 1011SK



写真図版 14



14B 区 0032SK



320



320 底面

14B 区 0032SK



321



325



324



343
胸部



343
底部



323



322



326

14B 区 0032SK



348



347

16 区 303SK



346



345

16 区 165SK



351



352



359



353



362



360



357



355



358



361



356



354



365



366



364

16 区 121SK

写真図版 16



367



370



372



374



371



368



376



375



404



405



411



380



373



408



409



410



378



377



406



407

16区 267SK

16区 204SK



382



384



383



398



399



386



388



400



401

16区 266SK

16区 217K



437



436



433



432



435



434

16 区 0295X



14B 区 0111SX(北より)



258



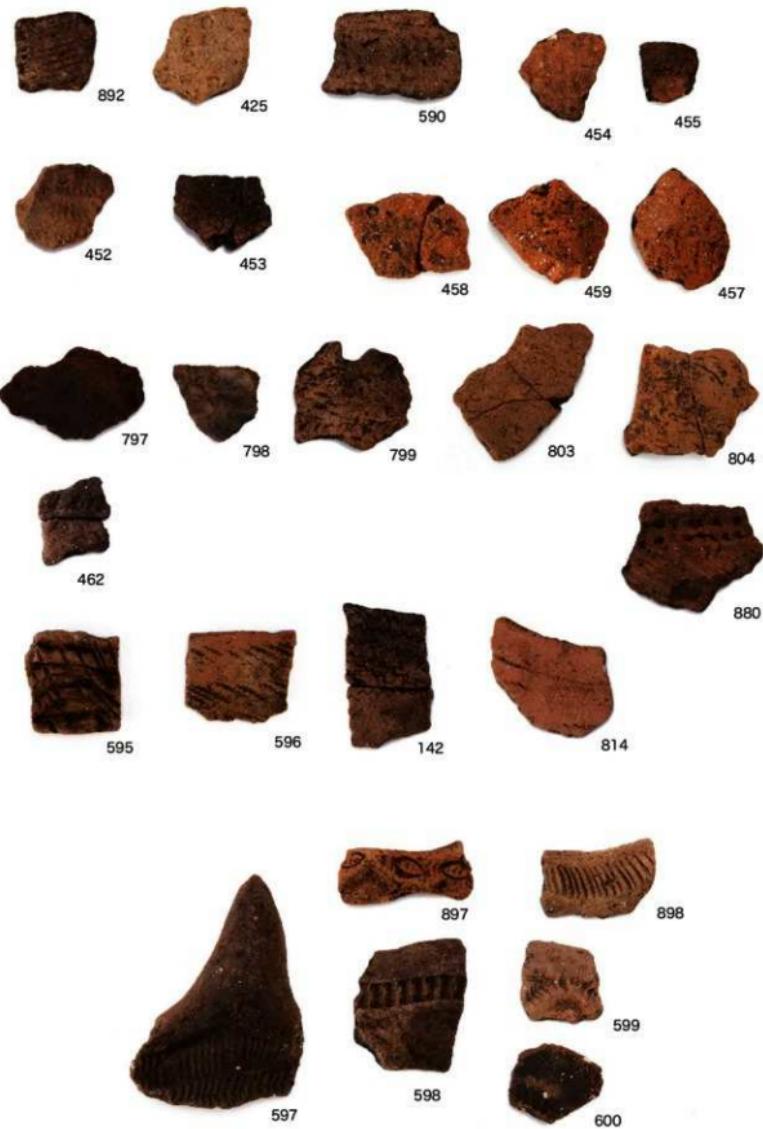
269

271

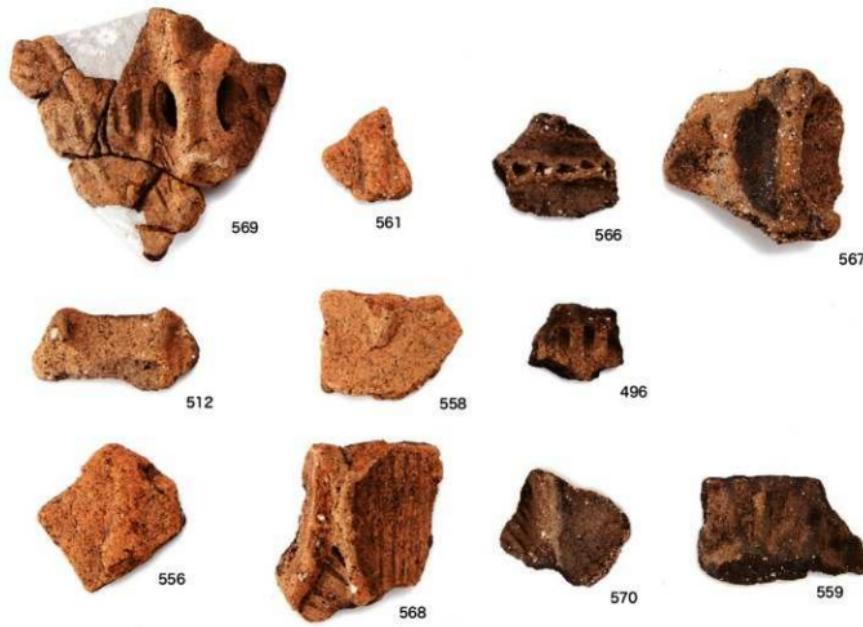
14B 区 0111SX

写真図版 18





写真図版 20





507



507裏



565



615



763



724



745



746



930



931



165



582



583



585

写真図版 22





写真図版 24



1058



1056



1057



1054



1059



1034



1055



1049



1035



1004

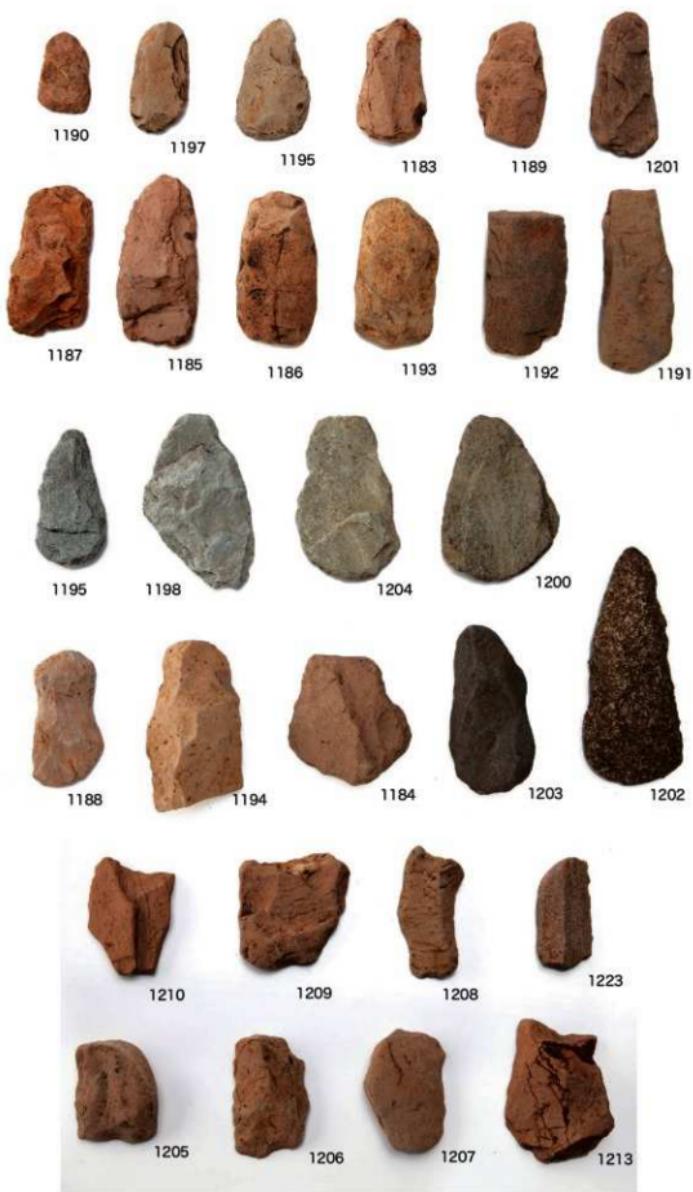


1012



写真図版 26





写真図版 28





安山岩 A (1206)



安山岩 B (1213)



安山岩 C (1263)



安山岩 D (1241)



安山岩 E (1217)



安山岩 F (1197)

安山岩各種

写真図版 30



1266



1264



1267

1265



1268



1269



1271



1275



1273



1284



1285



1289



1278



1276



1270



1283



1282



1286



1281



1280



1274



1288



1290



1291



1292



1279



1287



1272



1293



1294



1295



2001



2002



2003



2004



2008



2005



2006



2007



2009



2010



2011



2012



2013



2014



2015



2016



2017



2018



2020



2021



2009

写真図版 32



2019



2022



2023



2024



2026



2027



2028



2029



2030



2031



2032



2033



2025



2035



2036



2037



2038



2040



2041

2039



2057

写真図版 34





2074



2079



2080



2083



2084



2085



2086



2087



2088



2089



2090



2091



2092



2093



2094



2095



2096



2097



2098



2099



2100

写真図版 36



2101



2140



2103



2105



2107



2108



2109



2110



2111



2112



2113



2114



2104



2106



2050



2121



2042



2043



2044



2045



2046



2047



2048



2049

写真図版 38



2051



2052



2055



2053



2054



2122



2123



2124



2125



2126



2127



2130



2135



2131



1298



1299



1296



1297



1309



1310



1306



1300



1307



1307



1302



1301



1305



1301



1304

報告書抄録

愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 第211集

西地・東地遺跡

2019年3月31日

発行 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

印刷 新日本法規出版株式会社